

探究を導入した新カリキュラム。1年生のスキル習得で活用！

これまでの進学・進路中心の「総合的な学習の時間」から、探究へシフトしたいという考えから、新カリキュラムをデザイン。1年生のスキル習得場面で、本教材を活用。

対象：1年生 180名
5クラス 普通科

■ 年間カリキュラム

- 総合的な探究の時間（35時間）
- 活用テーマ：導入、まち、伝統継承、共生
- 学校テーマ：地方創生。市役所と連携し、阿波市の未来への提言を行う。



1年生の探究の導入で、本教材を実施。探究のプロセスを経験させながら、スキルを身につけさせた。

活用のアドバイス

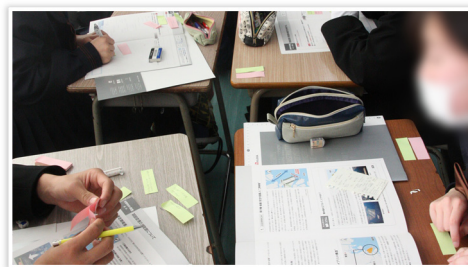
ストーリーの中で、自然にマインドマップ、KJ法が使えるようになっていたから、授業がしやすかったです。
具体的な課題解決が事例なので、生徒の探究への関心も高まります。探究の導入・1年生にぴったりです。

■ 探究エピソード紹介

先生が語る

「正解のない答えを考える授業の面白さ」

最初は答えがないことを嫌がり、あまり積極的でなかった生徒が、自分の考えでいいんだという自信をもって話すようになりました。
毎授業、生徒のいろいろな意見を聞くのが本当に楽しみでした。
他の学習場面でも、メモや付箋を利用して、自分で書き込みをする生徒が目立つようになったのに驚いています。



生徒が語る「探究ってすごい！」

探究のグループ活動では、人の意見を聞くと、自分の考えが発展していくのがわかります。
考えるときは、コミュニケーションが大事だと
思うようになりました。

最初、「未来」と聞いて、クラスの間みんなも反応が薄かったけど、
今は、新入生のために、掃除をすみずみまでさぼらずやったり、
後に続く人達のために行動できるようになったのです。
自分達でも、未来を考え、変えられると思います。

研究主任 濱田先生から『探究』へのアドバイス！

身の回りの課題に気づかせる「投げかけ」

元来、生徒達は様々な視点をもっているのです、それを大事にして、そこから「自分で探究の課題を見つける力」をつけさせることが大切です。

小さな課題でもいい。不便、おかしいという気づきから課題を見つけてほしい。
成果物をよりよくしようという固定概念にとらわれすぎると、探究の最初から手取り足取り指導してしまいがちです。揺さぶる言葉がけで、生徒達に考え直すステップを踏ませる。その教員の「投げかけ」が指導のポイントです。

おすすめ！

この教材は、探究を深める「投げかけ」のヒントも指導案に載っているし、指導案に沿って授業を展開していくことで、先生方も「課題に気づかせる」支援の仕方を学ぶこともできると思います！

